

ティントリジャパン、Microsoft Hyper-V の仮想化をサポートし、
ハイパーバイザー混在環境でも同一レベルの見える化を実現

～合わせて VMware vSphere Virtual Volumes、VMware vRealize Operations、
VMware Integrated OpenStack のサポートを発表～

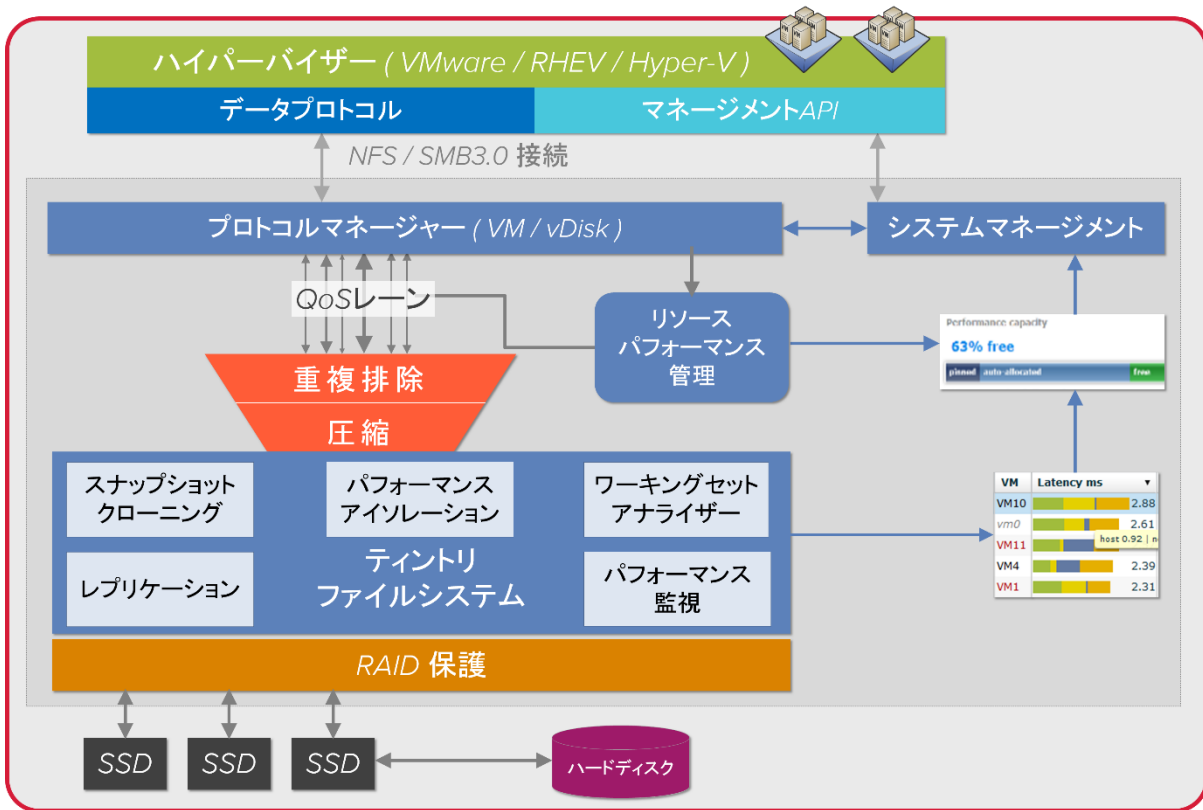
仮想化ならびにクラウド環境のスマートストレージを提供するティントリジャパン合同会社（本社：東京都千代田区、職務執行者社長：河野 通明、略称：ティントリジャパン）は、Microsoft Hyper-V による仮想化環境を新たにサポートしたことを発表しました。今回の発表により、ティントリは主要な3つのハイパーバイザーである VMware vSphere、Red Hat Enterprise Virtualization、ならびに Microsoft Hyper-V の全てをサポートし、混在した環境において同一レベルのデータ管理、データ保護、仮想マシンの見える化を実現します。

新しく Microsoft Hyper-V をサポートすることで、仮想化された Microsoft SQL Server、Microsoft Exchange、Microsoft SharePoint などのビジネス クリティカル アプリケーションが複数同時に稼働するような状況においても、仮想マシンの稼働状況に合わせた性能チューニングを自動的に実施し、パフォーマンス問題を改善します。

今回発表した Hyper-V のサポートによるティントリの新たな特長は次のとおりです。

- NFS ならびに SMB 3.0 に対応し、Hyper-V を始めとした複数のハイパーバイザーによる様々なワークロードを単一の Tintri VMstore 上で稼働させることができます。ティントリの管理画面により、異なるハイパーバイザーであってもシームレスに明瞭な見える化を実現し、ユーザーはハイパーバイザーを意識すること無く仮想マシンを管理できます。
- Hyper-V Manager ならびに System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) とネイティブに連携し、スナップショット、クローン、レプリケーションといったデータ保護を仮想マシン単位で行うことができます。また、それぞれの仮想ディスクの I/O を監視し、必要に応じてストレージリソースを自動的に割り与えることで、パフォーマンスの QoS (Quality of Service) を仮想マシン単位で実行します。

- Hyper-V 上で稼働する Citrix XenDesktop ならびに XenApp VDI をサポートします。ハイエンドモデルである Tintri VMstore T880 の場合、4U サイズの筐体で 3,500 台の仮想デスクトップを運用することができ、ラックスペースを大幅に縮小することが可能となります。



ティントリ スマートストレージのアーキテクチャ

また、今回新たに VMware vSphere 6 および関連するアプリケーションである VMware vSphere Virtual Volumes、VMware vRealize Operations、VMware Integrated OpenStack のサポートを発表しました。

- **VMware vSphere Virtual Volumes** : VMware vSphere Virtual Volumes によって、ストレージ側にて仮想マシン単位で細かい設定を行うことが可能となりますが、ティントリは当初より仮想マシン単位での見える化と管理を実現しています。そして今回新たに vSphere 6 と vSphere Virtual Volumes にサポートを拡張します。ティントリは VMware vSphere Virtual Volumes プログラムのパートナーであり、VMware vSphere Virtual Volumes の GA にあわせてサポートする予定です。
- **VMware vRealize Operations (vROps)** : Tintri VMstore システムを 仮想マシン単位で vROps 管理コンソールから直接モニタリングすることが可能となる「Tintri Management Pack for vRealize Operations」を発表しました。「Tintri Management Pack for

vRealize Operations」は仮想マシン単位でのストレージ統計、トレンドニング、および明瞭な見える化を提供し、プライベート クラウドなどの大規模な仮想化環境におけるストレージのトラブルシューティングを簡素化します。

- **VMware Integrated OpenStack** : VMware インフラ上で OpenStack を運用することを可能にする VMware Integrated OpenStack の将来的なサポートを表明しました。これにより、既存の VMware 環境にて OpenStack を活用する際に、クラウドで重要な要素である仮想マシンのデプロイメント、クローニング、およびティア ダウンを迅速かつ柔軟に行うことができるようになります。

価格について

- Microsoft Hyper-V のサポートは Tintri OS 3.1 以上となります。サポート対象となる「Tintri VMstore」をお使いであれば無償で提供されます。
- VMware vSphere 6 ならびに関連アプリケーションのサポートは、次期 Tintri OS のリリースにて予定しています。サポート対象となる「Tintri VMstore」をお使いであれば無償で提供されます。

###

参考情報

Hyper-V サポート関連情報：<http://tintri.co.jp/blog/2014/05/microsoft-hyper-v>

VMware vSphere Virtual Volumes サポート関連情報：<http://tintri.co.jp/blog/2015/02/vmware-vvol>

Tintri Management Pack for vRealize Operations 関連情報：<http://tintri.co.jp/blog/2015/02/vrealize-vmaware>

VMware Integrated OpenStack サポート関連情報：<http://tintri.co.jp/blog/2015/02/openstack-vsphere>

###

ティントリジャパン合同会社について

ティントリジャパンは、米国ティントリ社の日本法人として、2012年に設立されました。米国ティントリ社は、仮想化環境を監視、把握、適応できるスマートストレージを提供するストレージ・ベンダー企業です。同社のスマートストレージを導入することで、IT部門のストレージ管理負担を劇的に軽減し、仮想化されたアプリケーションでのサービスに集中できるようになります。

アプリケーションに最適化されたティントリ スマートストレージは、仮想マシン単位での可視化、制御、洞察、即時適応を提供し、ストレージの複雑な設計やトラブルシューティングから解放されます。ティントリ スマートストレージは、ビジネスクリティカル データベース、エンタープライズ アプリケーション、デスクトップやモバイル アプリケーション、プライベート クラウドといった数百から数千台の仮想マシンを快適に稼働させることができます。

ティントリ製品は、AMD、F5 ネットワークス、GE、NTT、ミラークアーズ、タイムワーナーなどのグローバル企業での仮想化やプライベートクラウド環境で利用されています。ティントリの製品やサービスに関する情報については、以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.tintri.co.jp>

ティントリジャパンの Facebook は以下の URL をご参照ください。

<http://www.facebook.com/TintriJapan>

###

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：ティントリジャパン合同会社

担当者名：マーケティング本部・羽鳥（はとり）正明

TEL：03-3216-7345（代表）

Email:info.japan@tintri.com